

## 第6回 天草市学校規模適正化審議会会議録

1 期 日	平成21年2月10日(火)午後2時1分～午後2時59分
2 会 場	天草市民センター第2会議室
3 出席の状況	<p>(1)審議会委員 20人 石橋委員、土佐委員、龍石委員、原田委員、牧田委員、藤川委員、前田委員、本多委員、高辻委員、瀬川委員、松村委員、尾田委員、梅田委員、益田委員、永野委員、杉山委員、金子委員、金澤委員、井上委員、角中委員</p> <p>(2)欠席者 森委員、益崎委員、山田委員、大久保委員、村端委員 5人</p> <p>(3)出席した事務局職員 6人 岡部教育長、嶺教育部長、坂本学校教育課長、武部同課課長補佐、山名同課教育企画係長、小川同課主任</p>
4 傍聴者	なし
5 議事の内容	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 前回会議の会議録の承認について</p> <p>4 議 事</p> <p>(1)答申(案)について</p> <p>(2)次回会議について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>
6 配布資料	<p>(1)次第</p> <p>(2)答申(案)</p> <p>(2)当日配布資料</p>
7 議事録作成者	学校教育課教育企画係 山名 直
8 記録の方法	発言者の要点記録、録音機

## 会議記録

[司会(学校教育課長)] 山田委員、大久保委員、村端委員、益崎委員から欠席の届けが出されているが、過半数の出席があつていることを報告する。

[会長] 今日は配布の答申案の表現と体裁について協議することとしたい。実質的な議論は今回は最後となるだろうから意見を出してほしい。会議録の承認についてどうぞ。

[事務局] 郵送していたが、訂正があつたので資料を配布している。その分の訂正をお願いしたい。また、先ほど委員から訂正の申し出があつている。8ページの下から7行目を「地域によっては、小学校が文化の中心であるところが多いが・・・」に訂正を願いたい。

[議長] いいでしょうか。それでは議事に入るが、答申案について意見や質問をどうぞ。

[事務局] 前回会議で、統合の組合せについて委員より意見があれば1月中に申し出ることとなっていたが、3件の意見があつた。その意見について配布の資料について説明。

[議長] 答申案は一読いただいたと思うが、意見等ないか。

[委員] 4ページであるが、3の1の小学校については、前回までは「地域の实情に応じて、中学校区域を越えることができるものとする。」があつたが今回は入っていない。また、3の幼稚園については、「一定規模の園児の確保が見込めず」とあり抽象的である。やはり答申としては人数を入れた方がいいのではと私は思う。

[議長] 前回には「校区を越えても検討する場合がある」があつたとのことであるが、そうなっていたのか。

[委員] 1と2は違う。2は、中学校では旧市町に1つ程あり、生徒が少なくなり統合する場合には隣接校とも検討する。1の場合は小学校では、旧市町での地区の学校が状況の変化により、近隣と統合した方がいいという場合が出てくることがある。1と2の意味は違うと思う。

[議長] 2は中学校はそもそも数が少ないので、3つの町で統合もありうるということが書いてある。1は小学校のことで、旧市町の境の場合にはそれを越える場合もあるのか、という話である。

[委員] 前回までの案ではあつたが今回はない。入れておいた方がいいのではと思う。

[議長] 隣町へ近い場合に、地域の理解が得られるならそこの統合については、この会でいい悪いは言えない。前回あつたなら入れておきますか。

[事務局] 前回までは、委員の指摘のとおり、「小学校の学校区は、現行の中学校区域を基本とする。ただし、地域の实情に応じて中学校区域を越えることができるものとする。」とあつた。今回は、ただし書きを削除するようなこととなっている。

今回は基本的な考え方を整理し、小学校、中学校、幼稚園と分けてどうするというところで表現した。基本的には、小学校では中学校区域を基本とし、期間内としては組合せも

そうになっている。それが進み中学校区域を越えて統合した方がいいという状況になれば、見直しをすることとし、期間内においては中学校区域を基本とするとしてもいいのではと思っています。

[議長] これは小学校でも中学校区を越えての統合もあるとのことではある。

[委員] 前回の会議の後に住民や保護者に聞いた。宮地岳・栢宇土・福連木の組合せの考え方もある。しかし、福連木小は旧天草町であり小学校で統合しても中学校は天草中なのか、本渡の稜南中のどちらに行くのか。福連木の市営住宅の住民は本渡に仕事に行っている人が多い。そういうことを考えると、小学校でも中学校区域を越えた統合もあっていいという意見も出てくる。

[事務局] 前回の「基本とする」の次ぎに「ただし、地域の実情に応じて中学校区域を越えることができるものとする。」を入れておくとなような議論にも対応できる。

[委員] 福連木での説明会ではこのような意見が出るので幅を持たせていた方がいいのではと思う。

[議長] そうならば残すようにしよう。それでいいですね。

[委員] 選択肢は広げていた方がいい、どうなるかはわからないが。

[議長] ほかに。

[委員] 2ページの上から5行目の「標準規模校」の表現が初めてでてきた。これまでは「適正規模校」であったが、意味は同じと思うが。

[事務局] 法律でも「標準」と「適正」が使われており、同じ意味であることを以前紹介したが、表現の統一を図りたい。

[議長] 意味が同じならどちらかに統一してほしい。

[委員] さっきの幼稚園の人数の方はどうか。

[事務局] そのことは、具体的に記載したがいいのか事務局でも議論した。園長会議でも議論してもらったが、数値を入れると微妙な園もある。このようなことから、「一定規模の園児の確保が見込めず」という表現にした。

[委員] 教育委員会としても人数があった方が判断する場合はしやすいのではと思う。住民に説明しやすい。審議会へ諮問されているので、その答えとしては、概ねの数値があったほうが答申としてもいいのではと思った。

[議長] 数値の入れ方や書き方もある。少なくとも5～15名という書き方は変である、幅が広すぎる。

[事務局] 園長会では、4人の2グループがないと集団的な教育的効果がないのではとの意見であった。7～8人は必要とのことだろうと思う。

[委員] 園長が2グループというなら、おおよそ10名程度と書いた方が教育委員会としては判断しやすいのでは。

[議長] 10名程度とし、仮に7人となれば統合を検討することにならないか。遠いところであれば6人でも残すこともあり得る。考えていれてほしい。

[委員] 中学校はこのままの表現でいいのか。具体的な案の中で、御所浦と五和が組合せの提案があっている。だから「旧市町を基本としつつ・・」という表現をいれておいたら。

[事務局] そのような表現があったが分かりやすいと思う。

[議長] 中学校の場合は、将来はという含みを持っている。今回は、旧市町の範囲でやっているの、これも検討してほしい。

[委員] 2ページの「適正化の必要性」の「(1)学習・指導面から」の「・・児童・生徒同士及び教員からの情報量が少なく、多様な知識や価値観が育ちにくい。」と言い切っているがいいのだろうか。言い方がきついと思うが。

[議長] 「情報量が少なくなりがちである」等がいいのではとの意見である。考えてほしい。

[委員] 1つは目次の「Ⅳ具体的な方策」は省略してあるので、「適正化に向けた具体的な方策について」等がいいのでは。2つ目は、1ページの「1児童生徒数の状況」で、平成10年度と20年度の児童生徒数を比較してあるが、主語は「天草市」であり10年度には市町合併していないので注釈がほしい。3つ目は4ページで、「本市においては多くの学校が小規模であることから」とあるが、前のページで「過小規模」と「小規模模」と分類しているの、「過小規模及び小規模模」とした方がいいのでは。

[議長] 平成10年度はまだ市町合併していないとのことですね。

[事務局] 本日欠席の久保さんからのファックスを紹介する。(なお、そのファックスは配布した)

[委員] 1ページの「1児童生徒数の状況」の「平成18年3月、2市8町が合併し天草市が誕生した。」の部分は不要ではと思う。学校統合が、行政改革の面からとの印象があり、子どもが減少したことから「統合」である。むしろ入れない方がいいのではと思う。

「本市の児童数は、全国的な少子化及び出生数の減少傾向と同様に年々減少を続け、・・」とあるが、これは「生徒」にもつながるので、「全国的な少子化及び出生数の減少傾向と同様に、本市の児童数は年々減少を続け、・・」とするのがいいのでは。

「一方、学校数については、・・」のところであるが、前段では児童生徒数の減少を述べ、学校数も減少している。「一方」を使うのであれば、前段と相反する表現になるのでは。

だから、「児童生徒数の状況」、「学校数の状況」、「学級数の状況」と3つに分けて表現したらと思う。

[議長] 詳しくなると、文章で書いて渡してしてほしい。表現には個人の持ち味がある。

[委員] 4ページの7番の「廃校後の施設及び跡地については・・」であるが、「廃校」が正しいと思うが朽ち果てたとの感じがする。廃校より「閉校」としたらどうか。自分も(旧天草町)教育委員会で学校統合したときにはあえて使わなかった。「閉校」の方がいいと思う。

[議長] 賜っておきたい、「閉校」か「廃校」がいいのかの表現の話である。

[委員] 4ページの「適正規模に向けた具体的な方策について」の時期のことであるが、前期と後期に分けてある。前期は直ぐにでも地区の説明会をしようと思うが、後期については、

同時並行か、前期が済んでからの説明会になるのか。

[事務局] 説明会は同時に実施して、具体的な統合については前期から進めることとなる。

[委員] その方がいい。後期のところも知っていた方がいい。同時に進めた方がいい。

[議長] 前期・後期は大まかな目安であり、地域によっては早くしてほしいとの話も出てくるだろう。

[事務局] 統合の時期についての話があったが、組合せのなかで、金焼小、天草町の下田南小等の小学校を後期まで対応しなくていいのかと議論した。このため、志柿小・下浦第一小・金焼小・瀬戸小のグループ、天草町と河浦町での組合せは、後期から前期に修正したい。

[議長] あまりこだわらずに、まとまったところから実施することになるでしょう。

[委員] 瀬戸はどことするのか。

[事務局] 志柿・下浦第一・金焼との組合せである。一覧表を見やすく修正をしたい。

[議長] 組合せの中身はここでは議論しない、パブリックコメントで検討してほしい。

[事務局] 中学校の統合については、五和と御所浦の2つを提案している。うち五和については、小学校の統合も提案しており、3つとも「前期」としているが意見を聞かせてほしい。

[議長] ありますか。文章の好みもあるので書いて提出してほしい。この表も分かりやすくしてほしい。

[委員] 二江小に勤務しているが、審議会の内容は保護者には話していない。城河原小は御領小との組合せもあるような話がある。

[議長] ここではその議論はできない。どこの学校を使うかは、地元の方でやってほしい。地理的に真ん中を優先するとか、将来を見据えると本渡に近い方がいいとかになれば、答申をまとめることができない。いったんこの案で皆さんの意見を聞こうというものである。

[委員] あくまでも案である。

[議長] 五和の5小学校がいったん1つとなっても構わない。そこは地域の方で考えればいいことである。

[委員] 御領小校区でも佐伊津に近いところもあり、そこは本渡中との統合の希望もでてくるであろう。2ページの「学校規模適正化の必要性」の「(2)生活面から」の「児童・生徒、教職員、保護者それぞれがお互いをよく知り、結びつきが深い反面、人間関係が固定化、序列化しやすく学級編制が固定化しているため、人間関係に破綻を生じると、修復が困難となり易く、序列化した人間関係が継続しやすい。」の「人間関係が固定化、序列化しやすく学級編制が固定化している」「修復が困難となり易く、序列化した人間関係が継続しやすい」も柔らかい表現にならないかと思う。

[議長] こちらで考えたい。

[委員] 2校の統合より、3校の統合の希望が多い。2校統合の場合には少ないところはい

じめられるのではと気にしていた。3校での統合ではそれが解消されるのではとの意見があった。理解できない話ではないと思った。

[議長] 文言の修正を行い表現は任せてほしい。今後の大体の流れの予定を話してほしい。

[事務局] 答申をいただき、6月には教育委員会で素案をつくり、保護者や地域での説明会やパブリックコメントを行う。それをもとに9月に推進計画をつくり、対象地区に説明を行いながら統合を進めることとなる。

[議長] なるべく早く答申するようにしたい。次回の会議日程は。

[事務局] 3月10日の火曜日午後2時からとしたい。

[議長] その日にやりたい。答申を提出した後に教育委員会と意見交換したいと思っている。

[事務局] 本日答申案に意見をもらったので、作り直してもう一度送りし意見をもらって最終的な答申としたい。20日ころを目途に送りしたい。

[委員] 「おわりに」というところは、審議会としての要望を書くのか。

[事務局] 出された意見や要望等をもとにまとめた。

[議長] 「おわりに」は、具体的なことは書かずに、「慎重な議論をいただいたので、答申を尊重しながら地域の意見を聞き理解のもとに推進してほしい」という一文がはいればそれでいい。要望等は本文にいれるべきである。この欄には、議論を尊重してやってほしいということだ。本日はこれで終わりたい。

[事務局] たくさんの修正の意見をいただいたので参考にしたい。

[委員] 教員の異動があるが、複式学級を体験していない先生は複式の学校に転勤する場合には研修は受けているのか。

[事務局] 複式学級が増えており対応できる先生を配置してほしいと要望している。しかし現実には難しいところもある。はじめて複式学級を担当する先生も多数おり、4・5月に研修会をしている。複式がどこの学校もやっているのではないので、複式を出来る人にやってほしいが、複式も単式も特別支援学級も全てできる先生になってほしいと思っている。

[議長] ごくうろさまでした。